

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

研究課題名

アセチルコリン受容体抗体価の安定期基準値に対する有意な上昇と再燃リスクの関連:重症筋無力症患者における Minimal Manifestations 達成後の追跡研究

研究機関名

東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者

東邦大学医療センター大橋病院 神経内科 准教授 紺野 晋吾

【情報の利用目的】

本研究では、重症筋無力症の患者さんにおける治療経過の中で得られた臨床情報および検査結果を収集し、安定期の抗体価を基準として、その後の抗体価の有意な上昇と再燃リスクの関連を検討します。

この研究で得られる成果は、今後の治療薬の減量や再燃予防に役立つ臨床指標の確立につながります。

【他機関への提供】

原則として他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる情報】

- 情報: 診療録に記載された病歴、治療歴、臨床スコア(MG-ADL、QMG)、抗体検査結果(アセチルコリン受容体抗体価)、副作用や合併症の有無など
- 本研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除した上で管理します。
- 得られた成果は、学術論文や学会で報告することがありますが、個人が特定されることはありません。

【情報の利用または提供を開始する予定日】

2025年12月より利用を開始します。

【情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大橋病院 病院長 渡邊学

【情報の取得方法】

対象者: 2000年1月～2025年9月までに東邦大学医療センター大橋病院神経内科において重症筋無力症の診断で診療を受けた方。

方法: 診療録(カルテ)および検査システムから必要なデータを抽出し、匿名化したうえで解析を行います。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者: 紺野晋吾 役職: 准教授

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経内科

研究責任者 紺野 晋吾

共同研究者 内 孝文

【将来の二次利用について】

本研究で収集した情報は、将来、関連する神経免疫疾患や自己免疫疾患の研究に二次利用される可能性があります。その場合には必ず新たに倫理委員会の承認を得ます。二次利用や他機関への提供を希望されない方は、下記の連絡先までお知らせください。申し出があった場合、その方の情報は利用されません。

【情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院 神経内科 准教授 紺野 晋吾

本研究に関してご質問のある方、情報を研究に利用することを承諾されない方は、研究対象者御本人または代諾者から、2026年3月31日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経内科

職位・氏名 准教授 紺野晋吾

電話 0334681251 内線 7551